

新型コロナウイルス
感染症特集

臨時号

2020



山梨県の広報誌

ふれあい

FUREAI



**やまなしグリーン・ゾーン
認証施設**

Yamanashi Green Zone
Official certification by Yamanashi Pref.

「やまなしグリーン・ゾーン認証マーク」

ホテル・宿泊業及び飲食業の事業者が行う感染予防対策が、県が定める認証基準に適合していると認められた場合に交付されます。認証マークの二次元コードを読み取ると、施設の感染症対策が表示されます。

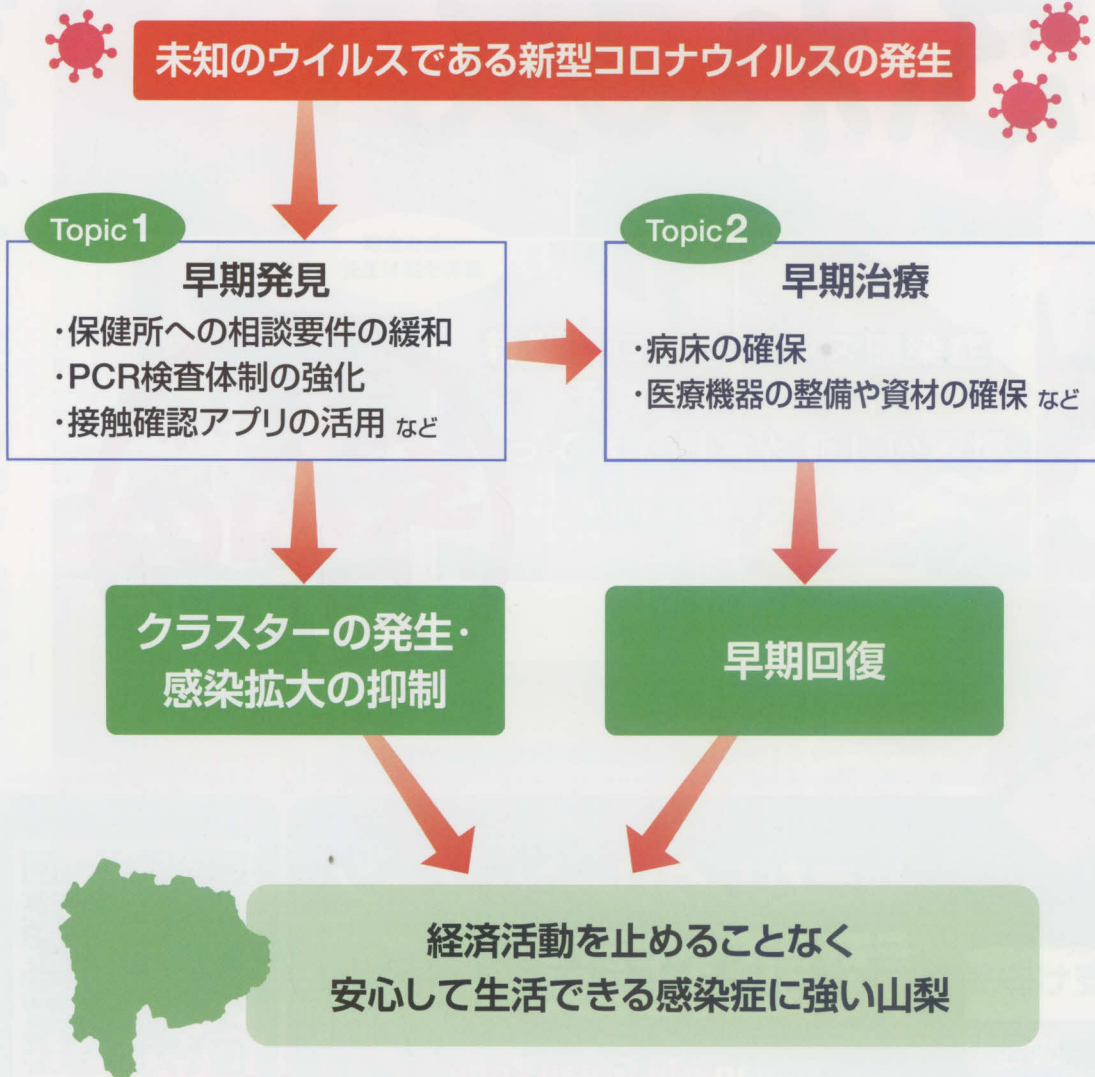
P2

「早期発見・早期治療」を
実現するために

P5

「超感染症社会」への
移行を目指して

県の感染拡大防止対策の考え方

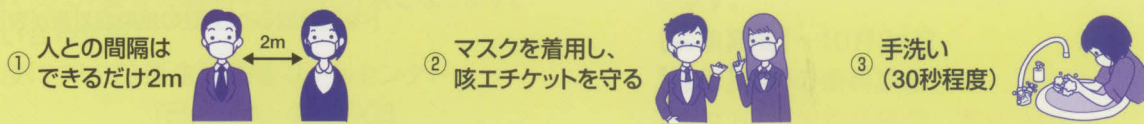


県では、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、さまざまな対策を講じています。「早期発見・早期治療」を基本原則として、保健所の体制やPCR検査体制の強化を行うとともに、県民の皆さんに必要な医療が確実に提供できるよう病床確保などを進めています。

「早期発見・早期治療」を実現するために

感染拡大防止対策のお願い!

- ・人混みや3密のある場所を避けましょう
- ・身体的距離の確保、マスクの着用、手洗いなどを徹底しましょう



新型コロナウイルス接触確認アプリ(CO^コCO^コA)をインストールしましょう



COCOAは、新型コロナウイルス感染症の感染者と接触したとの通知を受け取ることができるスマートフォンアプリです。
 山梨県では、アプリで感染者と接触が確認された方全員がPCR検査を受けることができます。ぜひインストールしましょう。

App Storeからは
こちら



Google playからは
こちら



感染者を誹謗中傷するのは止め、相談しやすい環境をつくりましょう!

感染は悪でも罪でもありません。予防対策を徹底しても、感染するリスクをゼロにすることはできません。誰もが新型コロナウイルスに感染する可能性があります。感染者を誹謗中傷するようなことは絶対に止めましょう。そして、もし、ご自身に感染を疑うような症状などがある場合はためらわずに最寄りの保健所にご相談ください。

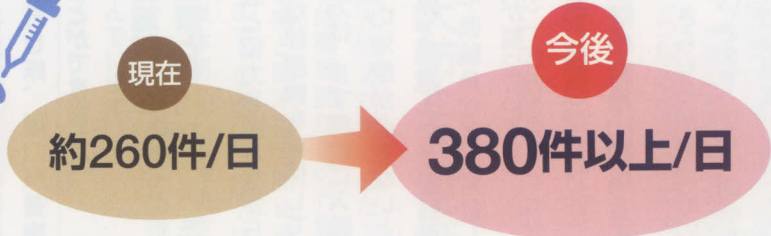
8月6日時点での情報を基に作成されています。

Topic 1

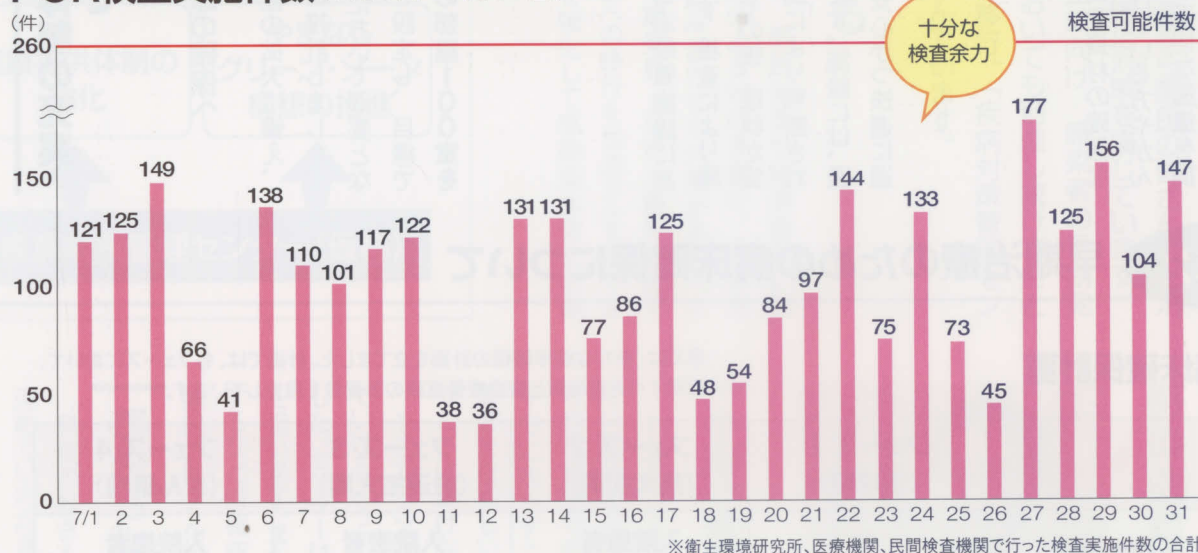
早期発見のためのPCR検査体制について

PCR検査可能件数

現在、本県では、1日当たり約260件のPCR検査が可能であり、最近の1日当たりの検査実施件数を大幅に上回っています。さらに、1日380件以上の検査が可能となるよう準備を進めています。



PCR検査実施件数(7月1日~7月31日)



PCR検査実施件数の比較

行政機関におけるPCR検査の実施件数は、人口10万人当たりで全国トップクラスとなっています。

指標	都府県	山梨県	東京都	神奈川県	長野県	静岡県	大阪府
PCR検査実施件数		930	183	237	167	148	389

1/15~7/31の間に行政機関が行った検査実施件数(人口10万人当たり)

早期に検査を受けることができ、検査の翌日までに検査結果が分かる万全の体制

行政機関におけるPCR検査の実施件数は、人口比で全国トップクラスとなっています。また、身近な地域で迅速に検査を受けられるよう、県内各地域の拠点的な医療機関に検査機器などを整備しています。現在、1日当たり、約260件のPCR検査が可能となっており、日々の検査実績を上回っているの、十分な検査余力がある状態です。そのため、早期にPCR検査を受けることができ、検査の翌日までに検査結果を出すことが可能となっています。今後は、さらに強化し、1日当たり380件以上の検査が実施できる体制を構築していきます。

PCR検査体制を強化

PCR検査は、管轄の保健所の指示に基づき、指定された専門外来を受診し、医師の判断により受けることができます。県では、保健所へ相談する基準を国に先駆けて緩和しました。また、新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCoA)から、感染者と接触したとの通知を受けた全ての方がPCR検査を受けられるようになりました。このように、県民の方に安心していただけるよう、保健所に相談しやすい環境をつくり、多くの方がPCR検査を受けられるようにすることで、早期発見につながる体制を整えています。

県民が相談しやすい環境づくりを推進

PCR検査体制を強化し
感染者の早期発見を目指す

病床の確保と医療提供体制の充実 患者の早期治療に向けて

新たな計画に基づき、必要な病床の確保へ

県では、新型コロナウイルス感染症の拡大に備え、まん延期に発生する患者数を新たに推計しました。フェーズ1からフェーズ4までの段階において必要となる病床数と宿泊療養施設の部屋数を設定し、目標である病床250床、宿泊療養施設の部屋100室を確保することができました。

宿泊療養施設においても 適切な医療と快適な環境を提供

民間施設と協力を図りながら、宿泊療養施設においても十分な部屋数を確保しています。検査により陽性となった方は、まず病院に入院し、その後、症状が安定し病院での治療が必要ないと医師により判断された場合は、県で用意した施設に移ります。施設には、医療スタッフや県職員などが常駐し、安心かつ快適に過ごせる体制が整っています。

誰もが安心して 医療を受けられる山梨へ

今後も、さらなる医療機器の整備や資材の確保などを進めていきます。また、透析を受けている方やがん患者など特別な配慮が必要な方にも適切な医療を提供できる環境を整えていきます。

Topic2 早期治療のための病床確保について

病床確保計画

県では、新たな病床確保の計画を立てました。計画では、各フェーズにおいて、確保すべき病床数と宿泊療養施設の部屋数を設定しています。

	フェーズ 1 (警戒期)	フェーズ 2 (拡大初期)	フェーズ 3 (急速拡大期)	フェーズ 4 (まん延期)
				
発動目安	—	入院患者 30名以上	入院患者 60名以上	入院患者 120名以上
確保すべき病床数	70床	130床	190床	250床 確保済
確保すべき 宿泊療養施設の部屋数	21室	21室	100室	100室 確保済

官民一体で新型コロナウイルスに立ち向かう 県内の宿泊施設が無症状者、軽症者を受け入れ

北杜市内の宿泊施設「若神楼」では、無症状や軽症の感染者の受け入れを行っています。若神楼で療養することとなった場合を想定し、職員が若神楼に体験宿泊した結果を報告します。



「若神楼」に、風呂、トイレ付きの客室を21室確保しています。看護師、保健師などが常に待機しており、必要な場合にはPCR検査のための検体を採取する環境も整っているなど、療養するための体制は万全でした。また、Wi-Fi(ワイファイ)環境、軽運動施設があり、クオリティーの高い食事が提供されるなど生活環境も充実しており、ストレスを感じることなく過ごすことができました。

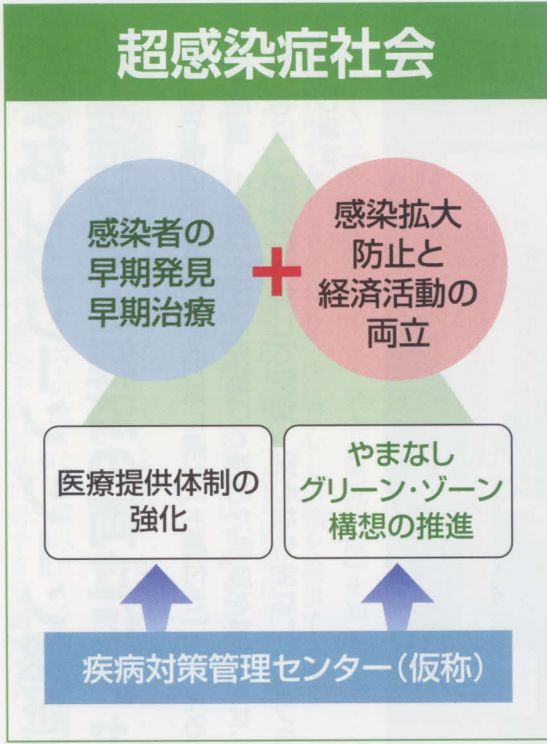
快適に過ごすことができる部屋を提供(左上)
医療従事者などが常に待機(右上)
Wi-Fiも整備(左下)
朝食に提供されたサンドイッチなど(右下)

「超感染症社会」への移行を目指して

県では、新型コロナウイルス感染症から県民の皆さんの生活を守るため、さまざまな感染症拡大防止対策を講じています。今後のさらなる感染症拡大防止に向け、感染者の早期発見・早期治療の徹底、感染症下においても前進し続けることができる社会（超感染症社会）への移行、「疾病対策管理センター（仮称）」の創設などに取り組んでいます。

感染拡大防止を徹底する

感染拡大防止対策に当たっては、県民生活や経済活動に影響を及ぼす休業要請などの行動制限による対応を避け、早期発見・早期治療と感染拡大防止策を組み合わせた対策が歩むべき方向となります。このため、県では、早期発見・早期治療を徹底できる医療提供体制と、超感染症社会への移行を加速させる「やまなしグリーン・ゾーン構想」の推進を強化して感染拡大防止の徹底に取り組んでいます。



感染症対策の専門組織「疾病対策管理センター(仮称)」創設へ



藤井 充 知事政策補佐官 (参与(感染症対策))

今回の経験を将来の糧に

新型コロナウイルス感染症以前にも、新型インフルエンザなど、新しい感染症は発生していました。しかし、これまでは、その時々で得られた経験や知識などが組織的に引き継がれておらず、次の対策に十分に生かすことができていませんでした。今回の感染症によるさまざまな厳しい経験が一過性に終わり、また元の状態に戻ってしまうことは避けなければなりません。

そこで、この経験を将来の糧とし、次世代にまでしっかりと引き継いでいけるよう、疾病対策管理センター(仮称)を創設することとしました。センターは、感染症対策に関わる立案から実行までの一元管理を担います。また、国内外の公衆衛生機関等とのネットワークを構築するなど情報収集機能を強化するとともに、感染症に関する情報を県民の皆さんにいち早く、分かりやすく発信していきます。

感染症に強い山梨へ

県民の皆さんは、日頃から正しい情報をもとに感染症への理解を深めていただき、感染リスクを避ける行動をとってください。感染症に強い超感染症社会を目指していきましょう。

山梨県における新型コロナウイルス感染症対策は、受け入れ体制や医療資材の備蓄などが不十分な中、ある意味ゼロからのスタートでしたが、そのような状況にあっても、先手対応・事前主義の方針のもと、短期間で態勢を整えてきました。県では、今回得た経験や知識を今後に生かすため、感染症対策を一元的に担う疾病対策管理センター(仮称)を来年度中に創設します。

疾病対策管理センター(仮称)

4つの特徴

感染症対策の立案～実行の一元管理

国内外公衆衛生機関等との独自チャンネル構築

継続的な知見の蓄積

医療物資備蓄・訓練計画立案・実施

「やまなしグリーン・ゾーン認証制度」で 感染症対策と経済の両立にチャレンジ

飲食店や宿泊施設の感染症対策に県が「お墨付き」を与えるグリーン・ゾーン認証制度。山梨が全国に先駆けて始めた制度を普及させ、事業者の皆さんとともに「感染症に対して安全・安心なやまなし」のブランド価値獲得を目指します。



認証を受けた施設内。パーテーションの設置や対面しない座席配置など、認証基準に沿った対策が取られている

「簡単な手続き、充実した支援策 グリーン・ゾーン認証取得を！」

新型コロナウイルス感染症により大きな痛手を被っている県内経済を再び盛り上げ「反攻攻勢」をかけるためには、事業所が適切な感染症予防対策を行い、山梨全体で県内外の消費者の「安心・信頼」を獲得することが重要です。

そこで、県では、適切な感染症対策に取り組む事業所を公的に認証する「やまなしグリーン・ゾーン認証制度」を創設し、6月26日から申請の受付を開始しました。

認証を受けるためには、施設の感染症対策が県が定めた認証基準に適合し、県が行う現地調査でそれが確認できることが必要です。県が審査に関わり認証することで、施設利用者の安心と信頼が確保できます。

認証施設には、店頭などに掲示していただく「認証マーク」を交付します。マークに組み込まれた二次元コードをスマートフォンで読み取ると、その施設の感染症対策が表示され、利用者は個別にチェックできます。

県では、多くの施設に認証を取っていただくため、感染症対策のための施設改修や機器購入を手厚く支援する制度を設けています。また、グリーン・ゾーン認証が売上げ増に直結する「営業ツール」となるよう、販売促進施策との連携など、認証事業者に対するさまざまな優遇策も講じていきますので、ぜひ認証を取得しましょう。

やまなしグリーン・ゾーン認証制度

手続きの流れ

- ①山梨県電子申請サービス「やまなしくらしねっと」(8月27日(予定)以降は、やまなしグリーン・ゾーン認証制度専用ウェブサイト)申請用フォームへの入力、または、申請書をやまなしグリーン・ゾーン認証事務局へ郵送

郵送先 郵便番号400-0031
甲府市丸の内1-17-10東武穴水ビル7階
やまなしグリーン・ゾーン認証事務局

- ②提出された申請書の書類審査
- ③申請された施設での現地調査
- ④申請内容が県の基準に沿っている場合、認証通知と認証マークを交付



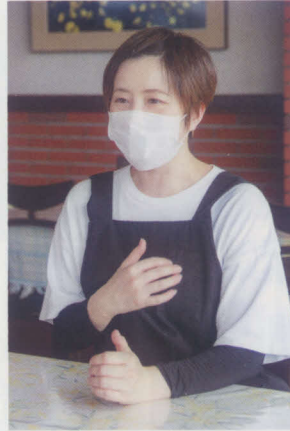
現地調査では、施設の感染症対策を確認

【問い合わせ先】申請手続きについては やまなしグリーン・ゾーン認証事務局 TEL 055-222-0384

認証取得が「選ばれる山梨」につながる

認証を取得した施設は安心して利用できることを来訪者や旅行者にアピールでき、認証施設が県内に増えることで、山梨県全体が感染症に強い地域として国内外から認識され、その積み重ねが「選ばれる山梨」につながります。

認証取得の手続きは簡単



ハーブガーデン四季の香り
スタッフ
渡辺 茜 さん

「4月に緊急事態宣言が出された直後から休業し、宣言が解除された6月に営業を再開しました。しかし、当店は団体ツアーのお客さんが多く、海外はもちろんのこと、国内の団体ツアーも全てキャンセルとなり、売り上げはほぼありませんでした。そこで、安心してお客さんが訪れてくれる方法がないかと、感染予防についての情報を収集し、消毒の徹底など自分たちができる対策に取り組みしましたが、厳しい状況は変わりませんでした。同じ頃、ニュースで『やまなしグリーン・ゾーン認証制度』を知り、この制度を利用することで、お客さんに安心と信頼を提供できると考えました。それに、これまで取り組んできた感染症予防対策を県に認めてもらえば、自信を持って安全な店であるとアピールできるとも考えました。

申請に必要な項目はほぼクリアしていましたが、実際に申請してみると手続きに難しいことは何もなく、現地調査もそれほど時間はかからず、認証までの流れは想像以上にスムーズに進みましたし、申請の過程で感染予防対策に対する意識がさら

に高まりました。

認証を受けたことで、お客さんや旅行者などの取引先に対しても自信を持って感染症対策をアピールできますし、信頼の獲得につながったと感じます。」

認証制度は、旅行先選びの決め手になり得る



日本旅行 栃木支店
営業
保母 高史 さん

「修学旅行などの団体旅行を担当していますが、新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、お客さまは旅行先に安心して利用できる施設があることを重視しています。

この認証制度は、山梨県が大々的に進めていますし、施設ごとの感染症対策や、万が一、お客さまに感染が疑われる場合の対応などが明確にされていて、とてもお客さまに薦めやすいです。

今後、認証施設が増え、やまなしグリーン・ゾーン認証を受けた施設が安心、安全であるとの認識が全国、世界に広がれば、よりたくさんのお客さまに山梨県が旅行先として選ばれると思います。」



施設が設置した消毒液とマスクカバー



やまなしグリーン・ゾーン認証マーク

事業者が行う感染症予防対策への支援

機器購入支援金

【対象事業】キャッシュレス決済の導入、感染症予防のための備品・消耗品の購入(4月20日以降に購入したものが対象)

【対象者・支援額等】

タイプ1(小規模事業者を対象)

対象経費の全額、5万円以上 30万円以下(1店舗・施設あたり)

タイプ2(宿泊事業者を対象)

対象経費の3/4以内、上限300万円(1施設あたり)

【申請期限】令和3年2月28日

【問い合わせ先】新しい生活様式推進機器購入等支援事務局

TEL 055-237-6600

【受付時間】午前10時～午後5時(平日)

山梨 機器支援



設備改修補助金

【対象事業】換気設備、自動水栓などグリーン・ゾーン認証基準に沿った設備改修工事(4月20日以降に着手し、令和3年3月15日までに完了するものが対象)

【対象者】飲食業、宿泊業を営む小規模事業者

【補助額等】対象経費の3/4以内、上限150万円(1店舗・施設あたり)

【申請期限】令和3年2月28日

【問い合わせ先】新しい生活様式推進設備改修等支援事務局

TEL 055-236-1230 FAX 055-226-0580

【受付時間】午前9時～午後5時(平日)



山梨 設備補助

【問い合わせ先】制度については グリーン・ゾーン推進課 TEL 055-223-1318 FAX 055-223-1320



マスクを付けて授業

手洗いはしっかり泡立てて30秒



給食の前に先生は机を消毒

新型コロナウイルス感染症 予防対策とともに 戻ってきた日常と新しい習慣

甲府市立里垣小学校2年生



みんなで静かにいただきます

みんなで間隔を守ろう

おともだち
はなれて
おしゃべり



新型コロナウイルス感染症に関する県民向け支援

ひとり親世帯への支援

ひとり親世帯臨時特別給付金

新型コロナウイルス感染症の影響によるひとり親世帯の子育ての負担増加や、収入の減少に対する支援のため、臨時特別給付金を支給します。児童扶養手当を受給していない方も、要件を満たす場合は対象となります。

【問い合わせ先】
(制度について) 厚生労働省コールセンター
TEL 0120-400-903
(手続きについて) 各市町村ひとり親支援担当窓口

18歳以上の県民への支援

無料歯科健診

専門的な口腔ケアを行うことで、ウイルスが体内に入る可能性を抑え、感染予防につなげるため、18歳以上の県民に対し、歯ぐき・歯・舌の診査と口腔衛生指導を無料で行います。

【対象期間】～10月31日
【場所】県内の歯科診療所
【受付方法】**歯科診療所に電話予約**
(予約の際は「新型コロナウイルス感染症の無料歯科健診」とお伝えください)
【問い合わせ先】山梨県歯科医師会
TEL 055-252-6481



就労者への支援

生活福祉資金貸付制度

休業や失業により収入が減少した世帯を対象に、必要な生活資金の特例貸し付けが受けられます。

【問い合わせ先】山梨県社会福祉協議会
TEL 055-254-8610

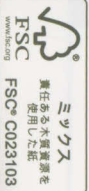
LINE 新型コロナウイルス情報発信中! 友だち登録を!!

スマートフォンを使って「ふれあい」をもっと身近に
スマートフォン専用Webサイト
「ふれあい」の誌面をスマートフォン専用のWebサイトでもご覧いただけるようになります。

新型コロナウイルス感染症に関する総合情報は
県ホームページをご覧ください



やまなしの県有林は、森林管理
認定を取得し、世界的な基準で
豊かな森づくりを行っています。



やまなし森の印刷紙
この印刷紙には、FSC®森林管理
認定を取得した山梨県有林からの
木材が使用されています。